

次世代大型宇宙望遠鏡

松田 有一
(国立天文台)

次世代大型宇宙望遠鏡連絡会

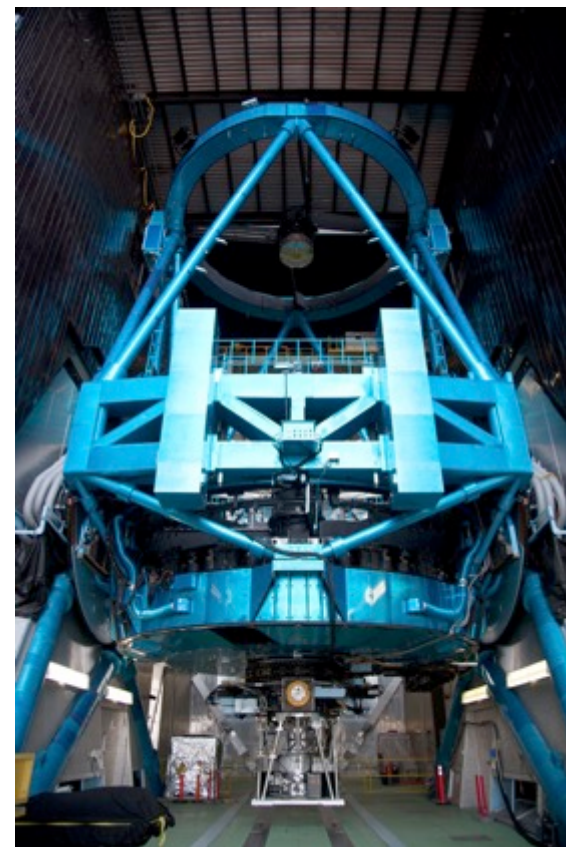
- メーリングリスト作成（現メンバーは101名）
– spacetelescope@nao.ac.jp
- 月一での検討会を開き、妄想を共有しながら複数のミッション検討を進めていく
- 大型につながる小型ミッションも考えていく

次世代大型宇宙望遠鏡検討会

- おそらく皆一度は「すばるが宇宙にあったらいいのに」という妄想をしたことがあるのでは？



Space Launch System (NASA)

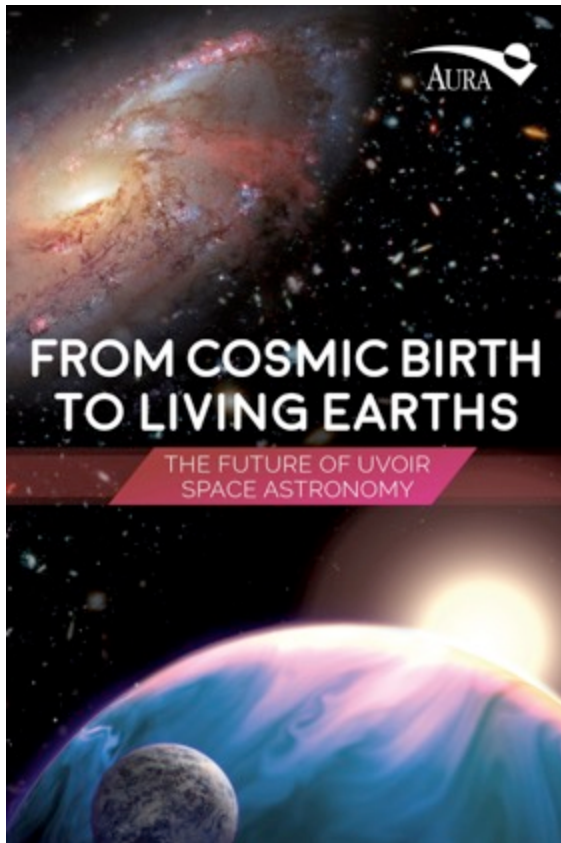


すばる望遠鏡 (NAOJ)

次世代大型宇宙望遠鏡検討会

- 実は何年も前から米国はHDST、LUVOIRという名前で検討を進めていた。。。

詳しくは明日の住さんの講演



次世代大型宇宙望遠鏡検討会

- 日本としてやりたいサイエンスができる次世代大型宇宙望遠鏡を考えたい(2030年代)

進め方

1. それぞれの持つ次世代宇宙望遠鏡像を自由に発表し、共有する。
2. 日本、世界の最新動向を知る(NASAの大型将来計画中間報告書など)。
3. 日本として進めたい大きな科学目標を選び、ミッション提案を準備する。
4. 既存の枠にとらわれない1000人規模の開かれたコミュニティを形成する。
5. 宇宙望遠鏡の組み立てから試験まで一連の検討をする環境を整備する。
6. 科学技術宇宙政策における大型宇宙望遠鏡の位置付けを明確にする。

宇宙すばるの予算規模は1兆円超になると思われるので、国際協力は必須(しかしビルゲイツなら10台打上可能 by 安田さん)



OUR EARTH IN REAL-TIME, ALL THE TIME



500基の小型衛星で地表観測してリアルタイムに配信する米国のベンチャー

第一回検討会(35名)

- 我々を取り巻く状況の確認：
 - NASA 2020 Decadal survey との関係
 - アstroバイオロジーセンターとの関係
 - 月/火星着陸ミッションとの関係
- 考えられる方向性：
 1. 大口径化(松田)- 宇宙すばる、宇宙TMT
 2. 干渉計化(松尾宏) - 赤外光子干渉計
 3. 広視野化(鈴木尚、児玉)- WII、宇宙SDSS
 4. 低バックグラウンド化(津村) - 惑星間望遠鏡

第二回検討会(38名)

- 日本の2020年代の宇宙望遠鏡計画(山田さん)
- 紫外域での系外惑星サイエンス(成田さん)
- 系外惑星サイエンスに向けた宇宙望遠鏡の現状(堀さん)
- SPICAからどう繋がるか(和田さん)

第三回検討会(25名)

- マスタープラン2020意思表明書の内容確認
(松田)
- NASAの大型計画(LUVOIR/OST)中間報告レビュー(住さん、左近さん)

次世代大型宇宙望遠鏡連絡会

- メーリングリスト作成（現メンバーは101名）
– spacetelescope@nao.ac.jp
- 月一での検討会を開き、妄想を共有しながら複数のミッション検討を進めていく
- 大型につながる小型ミッションも考えていく